

■バス利用者数と運行維持の状況

○路線バスおよびピーナちゃんバスの年間利用者は約10万人ですが、路線によって利用者が多い路線や少ない路線があり、1便あたりの平均利用者は約5人となっています。

○このため、バスの運行を維持するために国から補助を受けていますが、市としても昨年度は4,000万円を超える補助額を負担しました。今年度は、新たに白樺湖線、北八ヶ岳ロープウェイ線にも市の補助が必要となることから、さらに市の補助額の増加が予想されます。

○昨年度の市の補助額を1世帯あたりにすると約2,000円で、利用者1人が1回利用するごとに400円を市が補助し、維持している状況です。

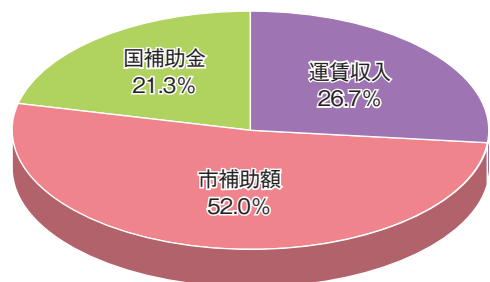


図4. 公共交通を維持するための財源割合

■今、市で取り組んでいること

市では昨年度から「茅野市公共交通検討会議」を立ち上げ、利用者増加に向けた利用促進の取り組みや、これからの茅野市の公共交通について検討を行っています。

- ◆利用促進に向けた主な取り組み
 - ・お得な乗車券のPR・周知活動
 - ・高校生・保護者に対する意識調査アンケートの実施

表1 市内主な路線別の利用者数(平成25年度実績)

路線名	利用者数(人)		
	年間	1日当たり	1便当たり
通学支援便・御狩野線	25,138	104	26.9
乗合タクシー・御狩野線	4,334	17	3.0
乗合タクシー・中沢線	7,305	30	2.5
通学支援便・丸山線	9,438	39	19.7
乗合タクシー・丸山線	9,997	41	4.0
穴山・原村線	10,009	42	3.8
乗合タクシー・豊平・泉野線	5,227	22	2.4
メルヘン街道バス	7,204	20	3.7
市街地循環バス	6,788	26	5.2
上社・大熊線	5,106	21	2.7
蓼科高原ラウンドバス	2,636	41	3.7
路線バス計	93,182	(平均)36	(平均)4.9
ピーナちゃん・東向ヶ丘線	1,661	33	4.7
ピーナちゃん・市街地西循環線	302	6	1.0
ピーナちゃん・小泉経由考古館線	1,351	26	4.4
ピーナちゃん・柏原線	1,376	27	4.5
ピーナちゃん・中道線	997	20	3.3
ピーナちゃん・丸山線	1,291	25	3.6
ピーナちゃん・大日影経由考古館線	1,250	25	4.1
ピーナちゃん・白井出線	1,211	26	4.0
ピーナちゃん・玉川循環線	755	15	3.0
ピーナちゃん・横谷峡・金山線	1,226	24	4.0
ピーナちゃん・白井出・北大塩線	1,146	22	5.6
ピーナちゃん計	12,566	23	3.8
計	105,748	(平均)33	(平均)4.8

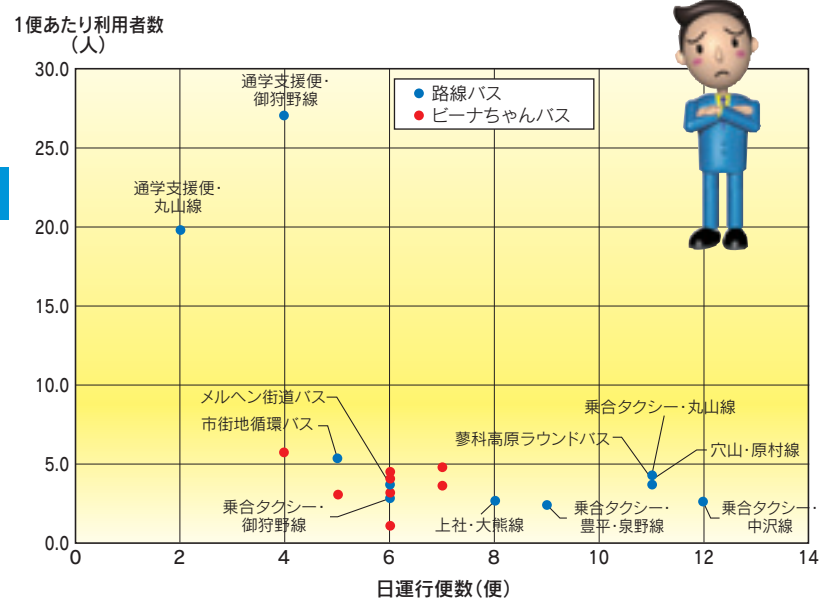


図3. バス路線別の日運行便数と1便あたり利用者数

※平成22年に時刻表を全戸配布していますが、その後、定期的に改正等を行っています。最新版は市役所企画課で配布しています。また、市ホームページでもご覧いただくことができます。

■公共交通の維持に向けて、市民の皆さんのご理解とご協力をお願い

今後、さらに効率的で交通弱者に配慮した公共交通のあり方について検討を進めていきますが、交通事業者、市民、行政の協働による取り組みも必要になります。

普段、バスを利用していない方も、一度、バスを利用していただくなど、バスの維持に向けて、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

■市内のバス交通の現状について

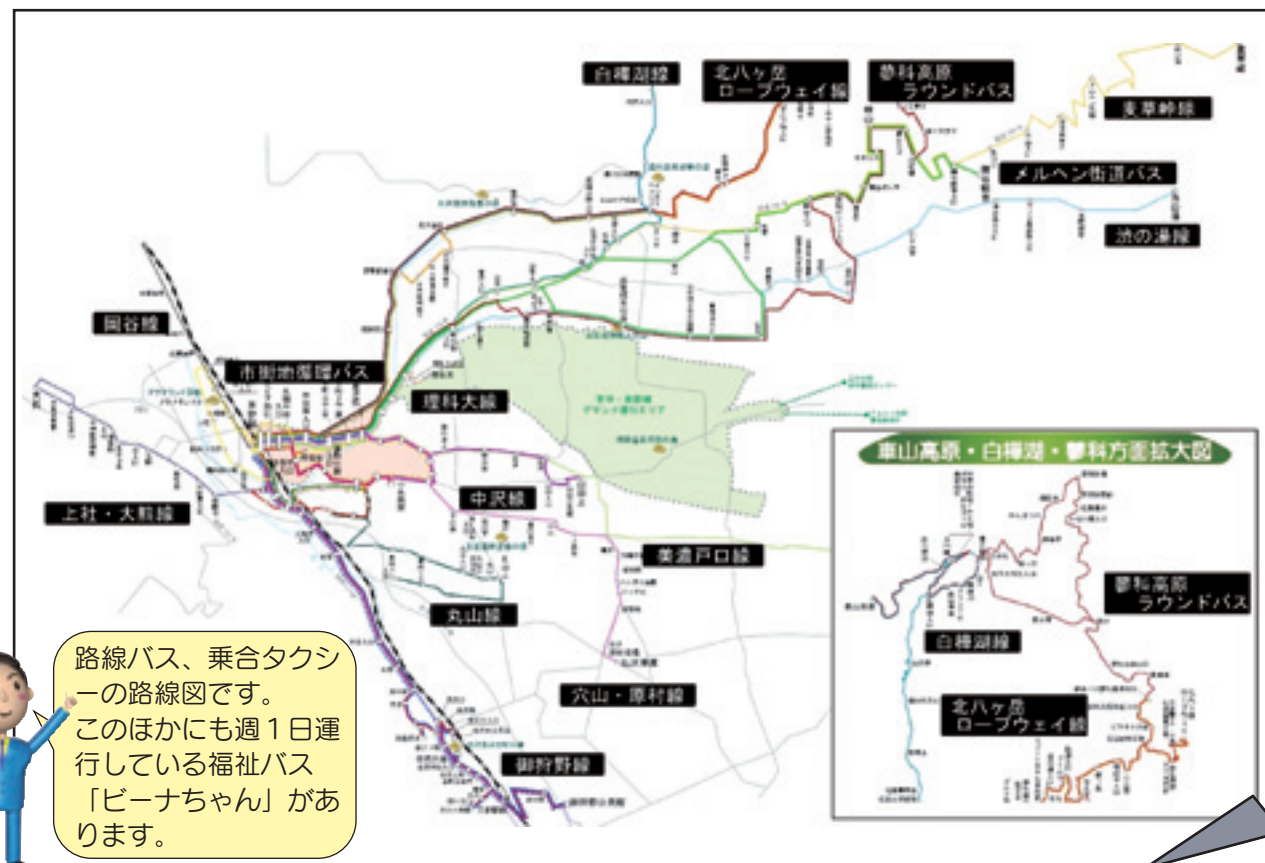
現在の市内バス交通については、今年の広報ちの3月1日号の『バスを積極的に利用しましょう!』でも、一部ご紹介しました。

今回は、「バス利用者の状況」や「バス利用者数と運行維持の状況」についてご紹介します。

■市内バスの運行状況

○市内には、路線バスや乗合タクシーが17路線、ピーナちゃんバスが11路線あります。

○これらのバスは、平日1日あたり約110便運行されています。

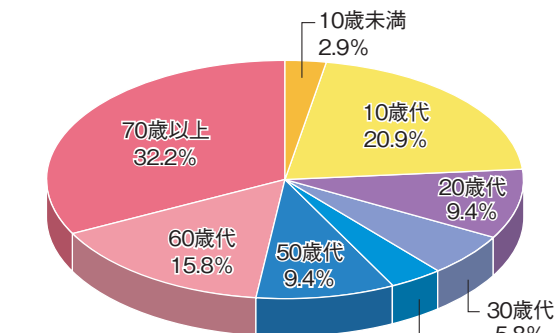


■利用者の状況

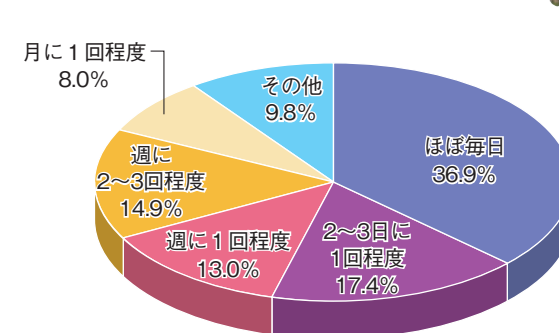
○バス利用者の年齢層は、10歳代以下が2割、60歳代以上が5割となっており、学生、高齢者が全体の7割を占めています。

○バスを利用した移動の目的としては、「通学」が全体の1/4を占め最も多く、次いで「通院」、「通勤」、「買物」となっています。

○バスの利用頻度は、目的により異なり10歳代以下は通学での毎日の利用がほとんどですが、高齢者は通院や買物で2~3日に1回程度以下の利用が多くを占めています。



(平成25年11月利用者調査結果)
図1. バス利用者の年齢層



(平成25年11月利用者調査結果)
図2. バス利用者の利用頻度